## 特集

## 用組合とまちづくり

# デザイン~ICTによる生活・産業の変革~(ミュニティファイナンスによる〈まちづくり〉の新たな)

よって、まちづくりをデザインすることにある。 今後の地域活性化の決め手は、生活サービスの創出を促す新たな金融機能に付や出資を広く集め、思い入れのあるプロジェクトを金融面で支援している。がクラウドファンディングの取組みである。インターネットを通じて小口の寄がクラウドファンディングの取組みである。インターネットを通じて小口の寄、現在、ICTによってコミュニティファイナスが活性化している。その一例

能にる。寄



## 地域金融機関への期待と課題

のキーワードが垣間見える。のキーワードが垣間見える。のキーワードが垣間見える。

である(2012年県民経済計算による。地方の労働生産性を見ると、長期におが1人当たり1億900万円と突出しおが1人当たり1億900万円と突出しわたり低迷が続いており、トップの東京わたり低迷が続いており、トップの東京もである。地方の労働生産性を見ると、長期にも、1つめはサービスの生産性の向上であ

ある。地域住民の生活をまちの中心に据

1つめは、事業の優先順位付けや活動

の減少は防ぎようがない。 材流出、地方経済を支える生産年齢人口儲かるわけだから、地方から東京への人ない限り、東京に住んだほうがはるかにない限り、東京に住んだほうがはるかにる)。何よりこの労働生産性の差を埋め

2つめは事業の持続性の確保である。 2つめは事業の持続性の確保である。 をこに地域の強み・地域資源を新しいいなっていない事業が継続するはずはないと、そこに地域の強み・地域資源を新しいと、そこに地域の強み・地域資源を新しいと、そこに地域の強み・地域資源を新しいと、そこに地域の強み・地域資源を新しいと、そこに地域の強み・地域資源を新しいと、そこに地域の強み・地域資源を新しいと、そこに地域の強み・地域資源を新しいと、そこに地域の強み・地域資源を新しいと、そこに地域の強み・地域資源を新しいと、そこに地域の強み・地域資源を新しいと、そこに地域の強み・地域資源を新しいる。

を無駄が発生する。 も無駄が発生する。時間的にも費用的に を非効率が生じる。時間的にも費用的に と非効率が生じる。時間的にも費用的に を非効率が生じる。時間的にも費用的に を非効率が生じる。時間的にも費用的に を非効率が生じる。時間的にも費用的に を非効率が生じる。時間的にも費用的に を無駄が発生する。

人口減少に直面し、収入減少と支出増大のスパイラル構造に陥っている。この3のキーワードを念頭に、事態打開のために打つべき手は見えているはずだが、めに打つべき手は見えているはずだが、かなかなか実現できない。ここで大きな役割を担うはずの自治体には限別がある。この3のまや全国どの地域も住民の高齢化といまや全国どの地域も住民の高齢化と

### 特集

### **信用組合とまちづくり**

2つめは、事業戦略を構築するノウハとが難しく、その取組みはおおむね浅くとが難しく、その取組みはおおむね浅くにすぎないもの(=総合計画)になりがちである。そして事業は自治体としてのちである。そして事業は自治体としてのエリアに一致しない。

リアにとらわれずに関係者との連携

や産業に配慮することもできる。活動エーの将来を支える(であろう)特定の企業経済成長へのインパクトが大きく、地域可能であるし、地域にとって雇用創出や可能であるし、地域にとって雇用創出やする。地域金融機関は民間事業期待がかかる。地域金融機関が果たす役割に

そうしたなか、

オープンデータ、

ビ

りにくい点である。そして、 のかかる取組みが短期的な収益につながは、地方創生という効果が出るまで時間 給する必要がある点である。これらは、 解決したり、これからの成長分野にチャ 金融機関にも課題が残されている。 枠を超えて地域全体の活性化をリードす が果たすべき役割は、 ネットワーク構築も可能であ きなハードルである。 にとっては乗り越えなければならない大 特に、個別企業の支援で短期的な収益を レンジする企業等へのリスクマネーを供 るところまで期待される。しかし、 査や担保主義を取ってきた地域金融機関 域への影響力が大きい地域金 信用創造に業務実績に基づく審 従来の金融という 地域課題を それ 地域

## 日本社会におけるパラダイムシフト

日本社会をマクロで眺めてみれば、社 日本社会をマクロで眺めてみれば、社 のことで、いち早く顕在化しているとも 言える (図1)。

クラウドファンディングによって、 ミュニティファイナンス」の領域である。 ウドファンディングをはじめとした「コ と密接に関連し、 プロジェクトをファイナス面で支援する トを通じて広く集め、 も、地域活性化、 ナンスの分野でも起こっている。なかで 起こしつつある。 のトレンドが、さまざまな分野で変革を ど、インターネットを通じたデータ活用 グデータ、IoT(Internet of Things) 小口の寄付金や出資金をインターネッ そのひとつが、ファイ 共鳴しあうのが、クラ スマートシティの推進 思いのある各種

 図1 社会・産業・ビジネスのマネジメント (経営) におけるパラダイムシフトの例

 事前規制型の管理

 資産所有を前提とした ビジネス展開

 資産のシェアリング (共有) を 前提としたビジネス展開

 予算型・計画遂行型の マネジメント

 プロトタイピング※を通じた試行錯誤の積み重ねによるマネジメント

 ※試作モデルによる検証

出典:(株)NTTデータ経営研究所にて作成

しているという側面である。 しているという側面である。 しているという側面である。 しているという側面である。 しているという側面である。 しているという側面である。 しているという側面である。 しているという側面である。 しているという側面である。

提供を強化することになるだろう。とだ緒に就いたばかりとはいえ、クラードファンディングにより、これまでビッドファンディングにより、これまでビッドファンディングにより、これは、地域を含め、デマンドサイド(需要側)に立った生活サービスが続々と創出される立った生活サービスが続々と創出されるでにあるものをいかに売るか」という「すでにあるものをいかに売るか」という「すでにあるものをいかに売るか」というが、「地域や生活者にとって望ましいは、カービスをいかに創出し、育てていくが、「地域や生活者にとって望ましいまでにあるものをいかに売るか」という。

## コミュニティファイナンスの潮流

れているコミュニティファイナスの取組ない。まずは、さまざまな形態で展開さは、クラウドファンディングにとどまらこうしたダイナミックな金融スキーム

ナンススキームが編み出されている。 ニティ形成を通じた問題解決型のファイ 域・各分野で、さまざまな形で、コミュ を含めることもできよう。現在、 じて活性化している「ふるさと納税」等ド、あるいは近年、寄付税制の改正を通 ギーを地域共同で普及させる市民ファン 始めている。ほかにも、再生可能エネル うなテーマ型のものなど多様に展開され ド、一定の地域にかかわらない音楽のよ ①官民協働ファンドの例 課題を解決するような官民協働ファン スの事例としては、官民で連携して地域 みを概括する。コミュニティファイナン 言える取組み事例をいくつか紹介する。 ここで、コミュニティファイナンスと 各地

### ク) の例

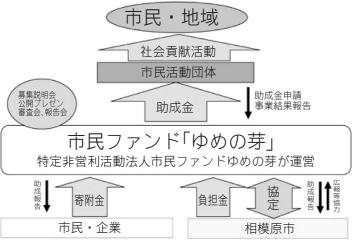
多くのプロジェクトが創出されている。 の分野でも活動を広げており、各地で数 援する一般的なクラウドファンディング グルメやモノづくりのプロジェクトを支 では、音楽ファンドから派生する形で、 近年、ミュージックセキュリティーズ㈱ 協働してプロモーションにも取り組む。 たCDの売上に応じて分配金をシェア ティストのパートナーとして、発売され スナーという受身の立場ではなく、アー るというもの。ファンドの参加者は、リ 費用・製造費用・宣伝費用などを支援す ティストの作品制作・販売に必要な制作 円~1万円単位の小額投資により、アー ド」を運営している。これは、1口5千 セキュリティーズ㈱では、「音楽ファン ら始まった取組みとして、ミュージック し、自分のブログやSNSなどを通じて アーティストを支援するという目的

### ③「ふるさと投資」の例

現在、地方創生を後押しする対策とし現在、地方創生を後押しする対策としまりプロジェクトベースで面的に展開さいが、「ふるさと投資」という取組みであ業に対する、クラウドファンディング等で対する、クラウドファンディング等で対する、クラウドファンディング等でがある。これは、地域資源の活用やされている。これは、地域資源の活用やされている(図3)。

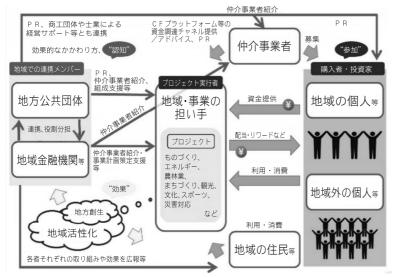
### 信用組合とまちづくり

### 相模原市市民・行政協働運営型市民ファンド「ゆめの芽」イメージ図 図 2



出典:相模原市(1)

### 図3 「ふるさと投資」 イメージ図



出典:内閣府地方創生推進室(2)

ミュ

5

れるのではな

ユニティファイナンスれるのではないか。コ用することが、今後求め

活用することが、

出すタイプのクラウドファンディングに活サービスをプロジェクトベースで生みは、地域に焦点を当て、地域における生 ついて考えてみたい。 するツールとして機能している。ここで

用されるなど、

先行事例もいくつか報告

されつつある。

置に当たり、この「ふるさと投資」が活めざす」との政策のもと、県民発電所設

熊本県では、「新エネ・省エネの先進県を

といった手法がとられている。

例えば、

(預金・証券・共同購入)等に対する販売

あるいは金融機関における窓口顧客

のクラウドファンディングサイ

トの活

推進に当たっては、

インターネット

などの関心コミュニティ(3)をデザインスは、地域コミュニティ、そして、音楽 のように、 コミュニティファイナン

## まちづくりの新たなデザイン

性化、スマートシティの創出という文脈 でとらえてみよう。 方部では、 にとどめるのではなく、 こうした取組みを、 人口減少等に起因する衰退 レンドをどのように回避 プロジェ 特に一部の 地域 単

れを可能にするためのツーな仕掛けが必要である。そ えば、 生活サービスを担う個別 なアプリケーショ けを、まちづくり ことができよう。この仕掛 ティファイナンスを捉える ルとして、このコミュニ い、受け継がれていくよう 事業が有機的に重 すべきか。そのためには、 足度を向上させるにはどう ている。長期的な視点か るのかが焦眉の課題となっ まちの価値や魅力、 不動産価値や住民満 ンとして の中核的 なり合 0

ての寄付者や出資者が、

そしてサポーターとし

そこにかか

わる事業

思いはどのようなものだったか。ビジネ して表現されているからである。 て感じている地域課題、問題関心が集中 ディアの宝庫となる。多くの人が共通し のような情報と同じく、ビジネスアイ のデータは、地域行政に集まる住民の声 スサプライヤの立場から言えば、これら 行ったか。寄せられた寄付者や出資者の のように活用するかである。ある地域 同時に生成されるさまざまなデータをど 立したか。どのような人が寄付や出資を で、どのようなプロジェクトが募集さ かけとしての場を提供する。この仕掛け 課題を力強く解決しゆく、 ロジェクトの中で発見し、 ここで重要となるのが、お金の流れと どのようなプロジェクトが実際に成 強力に機能する可能性がある。 コミュニティの活性化ツール 学び、 ひとつのきっ 地域  $\hat{O}$ 

的に進めることができるようになる。 地域のサービスが成立後、そのプロジェクトの売上や成果を実際にモニタリングし、分析、編集して、サービスにフォームを通じて、産官学、地域金融機ベーションの鍵となる。このプラットフォームを通じて、産官学、地域金融機ベーションの鍵となる。このプラットフォームを通じて、産官学、地域金融機ベーションの鍵となる。このプラットフォームを通じて、産官学、地域金融機関、地域のステークホルダーとなまちづくりを安心して長期は、スマートなまちづくりを安心して長期によった。

きるのではないか。地域において預金を まる地域サービスを見極め、地域におけ と地域金融機関は、積極的に相乗効果を まれた融資案件について、金融機関とし 案件になるとは考えられないだろうか。 りとした審査のための情報がほしい地域 ジェクトが事業拡大を行う場合、 済は、 サービス創出は、 たり、クラウドファンディングによる 地域間接金融の機能を十分に果たすに当 るサービス拡充を共同して行うことがで 発揮することができる。確実に支援の集 る。このようにクラウドファンディング モールスタートを促すことも考えられ ディングの案件として組成し、事業のス ような事業を、まずはクラウドファン てはどうしてもリスクテイクができない 件に比べて、数段積極的に取り扱うべき 金融機関にとっては、通常の融資持込案 立しつつあるだろう。そのようなプロ る。商品にインパクトもあり、 発掘の機会となる(図4)。 一方で、一度、地域金融機関に持ち込 多くのファン・支援者が集まり、 好循環が確保された状態になって 実績を上げたプロジェクトに関 有望なサービスに融資するという 非常に有効な融資案件 販路も確 しっか

出典:(株)NTTデータ経営研究所作成

## まちづくり~

このようにクラウドファンディングな

クラウドファンディングにより成立

ラルができるかもしれない。 とともに、小規模ながらもそのサービス どのコミュニティファイナンスは、 トする。そのようなポジティブなスパイ 着させ、自身もそのサービスを享受する メリットがある。将来にわたって、 0) や投資を行うことにより、地域サービス ては、自らの望むサービスに対して寄付 プラットフォームになる。生活者にとっ において新たなサービス産業を創出する 身の回りに、自分の望むサービスを定 オーナーとして、充実・発展にコミッ 育成に直接携わることができるという 自分 地域

### 信用組合とまちづくり

図 5 デマンドサイドからのサービス創出のためのポジティブフィードバック (好循環) イメージ図

サプライサイド[供給側] <地域で創出される生活サービス例> 飲食・ギフト・おもてなしサービス 健康づくりサービス 密なコミュニケーションを通じた生活サービスの提供 サービスの成果を サービス創出に向 フィードバック けたファイナンス デマンドサイド[需要側] (生活者、サービスユーザー、サポーター等) 金融を通じて生活サービス創出に参画 地域生活サービス創出のためのプラットフォーム (コミュニティファイナンス等) データの蓄積を活かしたサービスモニタリングとまちづくり (オープンデータ・ビッグデータの活用)

出典:(株)NTTデータ経営研究所作成

ミュニティファイナン つのきっか 環を引き起こす、 ス ファンディング等のコ なコミュニケーシ 域においてポジティ 地域経済の好循 けとして、 ひと 彐

ながら、 提示し、主 セプトをブラッシュアップする機会とす スを経ることで、 事業のコンセプトを広くオー ービスを提供する事業者の観点から 事業のニーズを探り、 資金提供の賛同者を募るプロ 自己の初期投資を抑え 事業コン ・プンに セ

トの支援者、すなわち提供するサービス 件成立した段階では、同時にプロジェク を育成するサポー 者・出資者との間の一定の緊張感の中、 ることができよう。 事業者は、 サポー ・ビスを立ち上げ、

化化

ジェ て、 とができるだろう。 より拡充させるため 終われば、 されることになる。 ションが生じ、事業の たサービスユーザーと 提供することによっ 機関に融資を求めるこ 直 ファンディングのプロ ロジェクトが成功裏に コンセプトが実際に試 の間にコミュニケー 0 ように、 したり、 サポーターを含め クトとして仕立て 新たなクラウド サービスを 地域の金融 クラウド プ

ターを得たことにな しかも、 ターである寄付 ひとたび 案

> ンを創出するだろう 金融は経済の血液と言われる。 (図 5)。

こうした新たな金融システムが、まちづ 来たのかもしれない。自由闊達、縦横無尽に くりをデザインするためのツールとして、 ある。それに伴い人々の生活や産業のあ データによる取引に取って代わられつつための金融システムは、今や電子的な ざまなプロジェクトをまとめ上げていく まちづくりが本格化するだろう。 手くかみ合う時、 来への思いが、新しい金融システムと上 産を将来にわたって保全し、そして、さま ステムは、技術の発展や産業のサービス 方も大きく変化していくだろう。 している。財やサービスを交換し、 !の流れとともにその形態・運用方法が変 地域の多様なステークホルダーの未 縦横無尽に活用される時代が デマンドサイド 地域生活者、 から 金 そし 今、

partnership/001897.html http://www.city.sagamihara.kanagawa.jp/shisei\_sanka 市民ファンド 相模原 市 相模原市市民 一ゆめの芽」 政協 働運

1 型

内閣府地方創生推進室

ふるさと投資」連絡会議資料

3)音楽ファンクラブなど、地域に限定されな いテーマ型のコミュニティ kaigi/tebiki\_gaiyou.pdf http://www.kantei.go.jp/jp/singi/tiiki/tiikisaisei/furusato/